

解答

(1) 2 (2) 3 (3) 2 (4) 2 (5) 1 (6) 2 (7) 3

解答解説

(1) Why are some educators paying more attention to volunteering?

正解:2

選択肢の和訳

1. 学生に学業の時間を減らしてほしいと考えているから。
2. ボランティア活動は意義ある学びの形になりうると考えているから。
3. たいていの学生が教室活動よりボランティアを好むから。
4. 地域団体が学校にボランティア派遣を求めているから。

正解の理由

本文第1段落第1文・第2文で、

“schools and universities are showing greater interest in volunteer activities as part of education.”

“some educators now believe it can be an important form of learning.”

と述べられています。つまり、一部の教育関係者は、ボランティア活動を単なる余暇活動ではなく、重要な学びの一形態だと考えているのです。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. 学業時間を減らしたいとは書かれていません。
 2. 学生の好みが必要な理由とは述べられていません。
 3. 地域団体の要求が理由だとは書かれていません。
-

(2) According to the passage, what is one possible benefit of volunteering?

正解:3

選択肢の和訳

1. それは、学生が必ず公共奉仕の仕事を選ぶようにする。
2. それは、学生が難しい社会問題に向き合わなくて済むようにする。
3. それは、学生が実践的な技能と社会的な意識を身

につける助けになる。

4. それは、高等教育における学問的知識の必要性をなくす。

正解の理由

本文第2段落第1文・第2文で、

“volunteering can help students develop practical skills as well as a stronger sense of social responsibility.”

“For example, students may improve their communication and teamwork...”

とあります。つまり、ボランティア活動は、実践的な能力と社会への責任感の両方を育てる可能性があります。したがって③が正解です。

誤答の理由

1. 必ず進路選択に結びつくとは書かれていません。
 2. むしろ社会問題に向き合うきっかけになると述べられています。
 3. 学問的知識が不要になるとは書かれていません。
-

(3) What is the author's main point in the final paragraph?

正解:2

選択肢の和訳

1. ボランティア活動は、学校が義務化した場合にのみ価値がある。
2. ボランティア活動は、注意深く設計され、教育的支援があるときに有益である。
3. ボランティア計画は、主に人件費を減らせるから有用である。
4. 学生は、教師の指導なしで自由にボランティアすべきである。

正解の理由

最終段落第1文・第2文で、

“volunteering is most effective when it is carefully designed and supported.”

“It should give students genuine opportunities to contribute while also helping them think critically...”

と述べられています。つまり、ボランティア活動は、適切な設計と支援があつてこそ教育的価値を十分に発揮するというの

が筆者の主張です。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. 義務化が条件だとは書かれていません。
2. 人件費削減が主目的だとはむしろ否定的に扱われています。
3. 指導が不要だとは書かれていません。

(4) What is direct air capture designed to do?

正解: 2

選択肢の和訳

1. 二酸化炭素を生み出すすべての産業活動を防ぐこと。
2. すでに放出された二酸化炭素を大気中から取り除くこと。
3. 二酸化炭素を直接再生可能エネルギーに変えること。
4. さまざまな地域の大気の正確な温度を測ること。

正解の理由

本文第1段落第2文で、

“direct air capture, a technology designed to remove carbon dioxide from the air after it has already been released”

と述べられています。つまり、直接空気回収とは、すでに大気中に出てしまった二酸化炭素を取り除くための技術です。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. 産業活動そのものを防ぐ技術ではありません。
2. 再生可能エネルギーへ直接変えるとは書かれていません。
3. 気温測定が目的ではありません。

(5) Why do some people support direct air capture?

正解: 1

選択肢の和訳

1. それは、すでに空気中にある二酸化炭素に対処する助けになるから。
2. それは、現在あらゆる気候対策より安価だから。
3. それは、化石燃料の使用削減を不要にするから。
4. それは、すでにクリーンな代替手段がある産業での

み機能するから。

正解の理由

本文第2段落第1文で、

“One reason direct air capture is appealing is that it can address carbon dioxide already present in the atmosphere.”

とあります。つまり、この技術が支持される理由の一つは、将来の排出削減だけでなく、すでに大気中に存在する二酸化炭素にも対処できる点です。したがって①が正解です。

誤答の理由

1. 安価だとはむしろ逆に書かれています。
2. 化石燃料削減が不要になるとは述べられていません。
3. クリーンな代替に限られる分野で役立つと書かれており、選択肢の内容は逆です。

(6) What concern do critics have about direct air capture?

正解: 2

選択肢の和訳

1. それは、気候変動を人々により見えやすくしてしまうかもしれない。
2. それは、排出そのものを減らす努力への関心を弱めるかもしれない。
3. それは、大規模利用には役立たないほど単純すぎる。
4. それは、政府ではなく民間企業にしか使えない。

正解の理由

本文第3段落第3文で、

“Some also worry that too much attention to carbon-removal technology could weaken efforts to reduce emissions at the source.”

と述べられています。つまり、批判者たちは、二酸化炭素除去技術に注目しすぎると、排出源での削減努力が弱まるのではないかと心配しているのです。したがって②が正解です。

誤答の理由

1. 気候変動を見えやすくすることは懸念として挙げられていません。
2. 単純すぎるのが問題だとは書かれていません。
3. 政府も企業も投資していると述べられています。

(7) What does the author suggest in the final paragraph?

正解: 3

選択肢の和訳

1. 直接空気回収は、従来の気候政策に取って代わるべきである。
2. 交通制度が改善すれば、直接空気回収は不要である。
3. 直接空気回収は役立つかもしれないが、より広い対策の一部として用いられるべきである。
4. 直接空気回収は、まもなく気候変動への主要な世界的解決策になる。

正解の理由

最終段落第1文で、

“direct air capture should be treated as a supplement to climate policy rather than as a substitute for emissions reduction.”

と述べられています。つまり、この技術は役立つ可能性はあるものの、排出削減に代わるものではなく、より広い気候対策の一部として考えるべきだというのが筆者の立場です。したがって③が正解です。

誤答の理由

1. 従来の政策に取って代わるべきだとは書かれていません。
2. 交通制度だけの改善で不要になるとは述べられていません。
3. 主要解決策になると断定していません。

全訳

Learning Through Volunteering

多くの国で、学校や大学は教育の一部としてのボランティア活動にこれまで以上に関心を向けている。ボランティアを単に学生が自由時間に行うものとするのではなく、それを重要な学びの形だと考える教育関係者もいる。学生たちは地域の行事を手伝ったり、子どもや高齢者と関わったり、環境活動に参加したりすることがある。そうした経験を通して、学生は教科書で読むだけでなく、社会問題に直接触れることができる。この考え方の支持者は、ボランティア活動が学生に実践的な技能と、より強い社会的責任感の両方を育てると主張してい

る。たとえば、学生は地域社会の中で組織がどのように機能しているかを学びながら、コミュニケーションや協力の力を高めることができる。また、ボランティア活動は、不平等、高齢化、環境問題についてより真剣に考えるきっかけにもなりうる。このため、一部の教育関係者は、ボランティア活動を学問的な学習と日常生活とを結びつける方法と見なしている。

しかし、ボランティア活動が正式な教育の中でより大きな役割を持つべきかどうかについては、だれもが賛成しているわけではない。学生が、自分たちのためというより制度の利益のために、無償で働かされるのではないかと心配する批判者もいる。また、すべてのボランティア経験が同じように意味あるものになるとは限らないという指摘もある。学生に十分な指導や振り返りの機会がなく、単純な作業だけを与えられるなら、教育的な価値は限られたものになるかもしれない。さらに、学業が忙しかったり家庭の責任が重かったりする学生にとっては、参加が難しい場合もある。

このような理由から、多くの専門家は、ボランティア活動は注意深く設計され、支えられたときに最も効果を発揮すると主張している。それは学生に本当に社会に貢献する機会を与えると同時に、自分の経験について批判的に考える助けも与えるべきである。この意味で、ボランティア活動は教育を豊かにしうるが、それは単なる無償労働や達成すべき義務として扱われない場合に限られる。

Collecting Carbon from the Air

気候変動への懸念が高まる中で、科学者たちは大気中の二酸化炭素の量を減らすためのさまざまな方法を探っている。その中で注目を集めている考えの一つが、直接空気回収である。これは、すでに放出された二酸化炭素を空気中から取り除くことを目的とした技術である。この仕組みでは、大型の機械が空気を取り込み、二酸化炭素を分離し、それを地下に貯蔵したり工業的な過程で利用したりする。支持者たちは、この技術は、特に排出を完全にゼロにするのが難しい分野において、地球温暖化を抑える重要な手段になりうると主張している。

直接空気回収が魅力的だと考えられる理由の一つは、すでに大気中に存在する二酸化炭素に対処できることである。将来の排出を減らすだけの気候対策とは異なり、この方法は時間をかけて温室効果ガスの総濃度を下げることを目指している。また一部の研究者は、航空やセメント生産のように、よりクリーンな代替手段がまだ限られている産業からの排出を埋

め合わせる助けにもなると指摘している。このため、いくつかの国では政府や民間企業が試験的な事業に投資し始めている。

しかし、直接空気回収には厳しい批判もある。この過程は現在、多量のエネルギーを必要とし、依然として非常に高価である。そのため批判者たちは、それが十分な速さで拡大され、意味ある変化をもたらせるのか疑問視している。また、二酸化炭素除去技術への注目が強すぎると、排出源そのものを減らす努力を弱めてしまうのではないかと心配する人もいる。

彼らの考えでは、政府や企業が将来の回収技術に頼りすぎれば、エネルギー利用や交通の面で今すぐ必要な変化を先送りしてしまうかもしれない。

こうした懸念から、多くの専門家は、直接空気回収は気候政策の補助的な手段として扱うべきであり、排出削減の代わりと見なすべきではないと主張している。それは将来役立つ役割を果たすかもしれないが、それが意味を持つのは、化石燃料の使用削減やエネルギー制度全体の改善に向けた強い努力と並行して発展するときだけである。

Speed Reading Practice for Eiken Pre-1: No. 8

- 1 volunteering[vɒˈlɒntɪəriŋ](n) ボランティア活動、奉仕活動
- 2 educator[ˈɛdʒukəɪtə](n) 教育者、教育関係者
- 3 encounter[ɪnkaʊntə](v)(n) 直面する、出会う; 遭遇
- 4 practical[præktɪkəl](adj) 実際のな、実践的な
- 5 responsibility[rɪspɒˈnsəbɪləti](n) 責任、責務
- 6 inequality[ɪˈniːkwələti](n) 不平等、格差
- 7 meaningful[miːnɪŋfəl](adj) 意味のある、意義深い
- 8 reflection[rɪflɛkʃən](n) 振り返り、熟考
- 9 atmosphere[ˈætməsfiə](n) 大気、空気
- 10 separate[sɛpəreɪt](v) 分ける、分離する
- 11 industrial[ɪndʌstriəl](adj) 産業の、工業の
- 12 limiting[ˈlɪmɪtɪŋ](adj) 制限する、抑える
- 13 concentration[kɒnsəntrɪʃən](n) 濃度、集中
- 14 greenhouse[ˈɡriːnhàʊs](adj) 温室の、温室効果をもたらす
- 15 aviation[ˈeɪviəɪʃən](n) 航空、航空産業
- 16 cement[ˈsɪmənt](n) セメント
- 17 offset[ɒfset](v)(n) 埋め合わせる; 埋め合わせ
- 18 fossil fuel[ˈfɒsəl fjuːəl](n) 化石燃料
- 19 supplement[ˈsʌplɪmənt](n)(v) 補足するもの; 補う
- 20 substitute[ˈsʌbstɪtjuːt](n) 代わり、代替物